



向陽台保育園だより

2025年8月7日(木)8月号

向陽台保育園

「自分のことを楽しんでできるこども」「友だちと協力して生活できるこども」

保育目標

「美しいものに感動し表現できるこども」「いのちを大切にできるこども」

戦争のない平和な世界を願う

園長 菅原恵美子

夏の暑さの表現も「猛暑」「酷暑」から「命の危険にかかる」と、一昔前には考えられなかつた表現が当たり前。北海道でも35°Cは本当に驚きです。

世界各地の地球温暖化による高温、豪雨による洪水、・・私たちは自分たちの手で住みやすい環境を作り出し、同時に自然を破壊してきたことによる今があるのだとひしひしと感じずはいられません。

1945年8月6日、8時15分。世界で初めての広島への原爆投下。多くの犠牲者をうみ、今なお被ばくの苦しみと当時の恐怖を記憶と共に戦後80年を生きてこられた方々がいます。

広島平和記念式典では広島市長が「抑止の概念は必要だが、抑止は概念であり、心理であり、フィクションであり、自信過剰な指導者などにより抑止は破られていく」「核戦争になれば人類も地球も再生不能」と核兵器廃絶を訴えていました。中学3年生のこども代表は、「被爆者の方々から聞く機会は少なくなってくるが、悲劇を風化させず、記録として被爆者の声を語り継いでいく使命がある」と訴えていました。

かくいう私も戦争を知らず、語り継がれた歴史や残された歴史の遺物などの史料から、80年前に起きた恐ろしい事実を知るのみです。

両親は他県で戦中に疎開をし、防空壕に逃げた経験を私に聞かせてくれ、『かけになった少年』という本を読んで聞かせ、原爆ドームの階段にある人の影を実際に見に行ったことで、私なりの戦争への恐ろしさを感じています。

「語り継いでいく使命」とは、私たち大人が平和を考え、命を考え、人と人の繋がりの大切さを考え、地球の人類の平和を考え続けることであり、知りえる歴史を知ろうとし、次世代につなぐことだと考えます。

唯一の被爆国として、8/9は長崎の平和記念公園から『平和』『核のない世界』が発信されることでしょう。

玄関に関連図書をおいておきますので、お手に取ってご覧ください。



今月の予定

8月 5(水)誕生会

6(木) 平和の語り

11(月)山の日(祝日)休園です

26(火)避難訓練(火災想定)

30(土)向陽台地域 夏まつり 出店します！！

※8月中も稻城市社会福祉協議会主催の「夏ボランティア」の学生さんを随時受け入れています。

卒園児も参加してくれています。



<7月 観劇会 ことしはシャボン玉ショーを楽しみました>

今年度の観劇会は「シャボン玉ショー」。乳児さん、幼児さんの2部制にしてホールで楽しみました。小さなシャボン玉がホールいっぱいに飛んだり、シャボン玉の中に香りの煙を入れて何の果物のにおいかを当てる等に、子どもたちは手でたたいては鼻の穴を膨らませて香りを吸い込んで「ブロッコリー！」と答える珍回答も・・

シャボン玉の中に入る不思議な体験もできました。

今回の観劇会には「どんぐりの会」より補助を頂きました。保護者の皆様に感謝申し上げます。

<園のようす>

この時期は冷たい水や土の上を裸足で歩くなど五感を刺激する体験がたくさんできる時期なのに、熱中症警戒アラート発令、計測をすれば「活動危険」となり、戸外活動もままならない状況です。

そんな中でも、ホールではしごやマット、トランポリンを出して身体活動を促したり、お部屋では水や氷の感触を楽しめる工夫をし、外遊びができる日は日陰とミストシャワーの下で、石鹼アワブクブクや色水遊びを短時間ですが楽しんでいます。セミ取りもできない日々を恨めしくも感じています。

<おねがい>

★送迎門は開いていることで不審者が一緒に入ってしまう恐れがありますので、

セキュリティ管理のため、通るごとに必ず閉めるようにしてください。

★送迎の際は、赤いストラップを着用してください。

★お休みの場合は **9:00までにコドモアプリより欠席の連絡を入れてください。**